

# 堅上の四季

12月号  
堅上小学校  
R2.11.27  
No.5



「今年にやるべきことを」

校長 小森 美智代

今年の始まりに、こんな一年になることを誰が予測できたでしょうか。本当に我慢の一年で、いろんな行事が中止になり、子どもたちの思い出も少なくなっていました。

そんな中ですが、何とか十一月九日、十日には、六年生は、伊勢方面への修学旅行に行くことができました。晴天にも恵まれ、十人の仲間と小学校生活の最高の思い出を作ることができました。また、十三日には、「堅上マモロンピック」を開催することができました。体育大会の縮小版ではありましたが、子どもたちが各団の団旗の元、一生懸命競技や演技に取り組みました。また、保護者の皆さんにも、その様子を見学していただけることができました。

今年も、後十二月を残すだけとなりました。新型コロナウイルス感染症においては、まだまだ予断を許さず、先行きが不透明です。生活にも不安が多く残りますが、子どもたちはたくましく、この逆境も乗り越える力を確実につけてきています。出遅れた学習もほほ追いつきました。新しい生活様式も身についてきました。個々の目標ややるべきことの中で、やり残していることに、集中して、二〇二〇年の最後の一月を過ごしていきます。

「ご家庭や地域の方々のご支援よろしくお願致します。」

「おもちゃランド」をしたよ  
はじめは、つりやさんでした。わたしは、タコをかきました。かわいくかけたので、うれしかったです。タコは足をきるのがむずかしかったです。さいしよは、2てんだったから、かなしかったけど、あとで9てんもとれました。2いになってうれしかったです。(1年)

## 楽しいマモロンピック

今日マモロンピックをしました。母さんや父さんたちが見てくれました。

さいしよはきんちようしました。ときようそうはれんしゆうのときは三番だったけど、二番になったのでうれしかったです。きんちようしたけど、玉入れは一番を二回とれたのでうれしかったです。でも、赤だんは三番になってちよつとくやしかったです。玉入れが一番楽しかったです。きんちようしたけど楽しかったです。お父さんがいたからきんちようしました。

またマモロンピックをやって一番をとれるようにがんばりたいです。(2年)

## はやいスピードでとびまわりたい

はやいスピードで大空をとびまわりたい。もしもぼくが生まれかわったら鳥の「はやぶさ」になりたいです。理由は二つあります。

一つ目の理由は、はやいスピードで大空をとびまわりたいからです。ぼくは、一どでいいからとびたいと思っていました。しかしとびたいだけなら

「ふつうの鳥でいいんじゃないの。」と、みんな言うかもしれないが、ぼくは大空をはやいスピードでとびまわりたいからはやぶさにしました。

二つ目の理由は、鳥の中でかっこいいからです。ぼくが鳥のベスト3をえらぶなら、一位タカ二位ワシ三位はやぶさとこたえます。だけどなぜタカやワシをえらばなかったかというと、一つ目の理由で書いたようにはやいスピードでとびまわりたいからです。

ぼくがもし生まれかわったらはやぶさになつてはやいスピードで大空をとびまわりたいです。(3年)

## うれしさと雨のマモロンピック

開会式の中、雨がふりだした。かぜをひい

てはいけないので、教室にもどつてきがえた。

そして、二時間目、徒競走だ。ぼくは練習でいつも三位だった。しかし、本番では、ぶじ一位になった。玉入れは、いつも同じで、一位になることが出来た。しかし、ぼくたちが一番苦手なのは、玉入れでも、徒競走でもなく、「台風でもおみこしわっしょい」だ。なぜなら、バランスを取るなど協力し合うことがむずかしいからだ。三位になってしまったが楽しかった。家ぞくのだれが来ているか見ようとしたが、メガネをかけていなかったため、分からなかった。

閉会式の中、校長先生が話していると、また雨がふり出した。とてもさむかった。楽しかったけど、来年は、いつも通り体育大会がかいさいされてほしい。(4年)

## 「マモロンピックの出来事」

わたしは、マモロンピックがあつてよかったです。なぜ、あつてよかつたかという、理由は二つあります。

一つ目の理由は、面白かつたからです。マモロンピックでは、六年生が走っているときにくつがぬげている人がいました。また、玉入れの練習では赤団が全部勝っていたけど、本番は全部負けたので残念でした。わたしは、西森さんと、

「青団は、本番に強いな。」  
と言いながら玉入れを終えて、結果は青団が勝っていました。

そして、二つ目の理由はドキドキするからです。なぜドキドキするかというと、結果が分からないからです。結果が分かると、面白くなってしまうからです。マモロンピックでの結果は、黄団・青団・赤団の順になつたけど、楽しかつたし、『結果や点は関係なく楽しくできていればい』と校長先生がおっしゃっていたので、その通りだと思ひました。

結局、マモロンピックは点を競い合う競ぎではなく、自分自身がどこまでいけるのかを確認する場所なんだと改めて思ひました。(5年)

## 修学旅行での思い出

私は修学旅行で『絆』というものを学びました。

私はこのクラスはもとから仲が良いと思ひていました。ですが修学旅行のクラスの

## 12月行事予定

18日(金)～24日(木) 短縮  
12:05 下校①12:10②12:50

※14日(月)～18日(金) 自主学強化週間

- 2日(水) 諸費振替日 SC
- 3日(木) 全校遠足予備日
- 5日(土) 特認面談
- 9日(水) ひまわり号
- 10日(木) はぐくみテスト(3～6年) SC
- 11日(金) 体重測定
- 17日(木) 給食最終日
- 21日(月) SC
- 22日(火) 個人懇談
- 23日(水) 個人懇談 ひまわり号
- 24日(木) 終業式



## 1月行事予定

- 4日(月) 諸費振替日
- 7日(木) SC
- 8日(金) 始業式  
短縮 12:05 下校  
バス①12:10②12:50
- 12日(火) 給食開始
- 20日(水) 6年お別れ遠足 SC
- 28日(木) 漢検(4年～6年) 29日(金) SC



集いで、本当の『絆』を学びました。クラスの集いでは、みんながクラスのみんな仲良しだと言っていました。でも、その中でも課題点があり、その課題をどうすればなくなるのかと言うことまでみんなは言ってくれて、私は本当にそうだと思います。そして、そのクラスの集いでみんなの話を聞いてみると本当の絆と言うのは、『だれにも切りたくないもの』ということが分かりました。また、だれかを思いやる気持ちだということも分かりました。

このようなことから私は修学旅行のクラスの集いで『絆』というものを学びました。そして、この修学旅行を一言で表すと、「心に一番残った思い出」です。みなさんは修学旅行を一言で表すとどんなことを思ひますか? (6年)